

目標達成計画

作成日: 平成29年 3月 29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	入居者様の重度化に伴い、職員の介護負担と不安がある。	ご家族様の協力のもと入居者様が住み慣れた環境で暮らせるように支援する。	住み慣れた環境の中で安心して暮らしていただきたいが、重度化された入居者様の介護の不安がある為、重度化された時の対応などの研修を全職員対象にする。	12ヶ月
2	49	通院や散髪・散歩へは、外出できているが、ご本人様の意向にあった外出が出来ていない事が多い。昨年より外へ出る回数が減った。	家族様とも協力し、本人様の行きたい所へ外出できるように、支援していく。 お花見や地域の行事への参加、外食等を増やし、外へ出る機会を作る。	家族様と協力し、ご本人様の思いをお聞きし思いに沿って、外出や好きなことが出来るように取り組む。 年間行事計画の中の外出計画を増やし、定期的に外出できるよう担当者を決め、計画を立てる。	12ヶ月
3	27	介護記録の記入漏れは減ったが、特記事項の記入が少なく、5W1Hや根拠に基づいた記録が出来ていない。抽象的な記録になっている事がある。	より質の高い介護記録となるよう、記録の書き方を継続的に学ぶ。 記録の連動性や、特記事項の記載の必要性を理解する。	記録の書き方、記録の連動性や特記事項の記録の必要性等、全職員が理解できるよう職員研修を行う。 ユニットリーダーや管理者が記録の確認をし、必要に応じ記入者に指導する。	12ヶ月
4	2	地域の方との関わりや、認知症の理解も広がってきているので、現状の取り組みを継続し、更に地域との関係性を深めていく。	地域の方との交流や認知症の研修を地域の方々にして、認知症への理解を深めていただき、更に関係性を深めていく。	施設行事の宣伝・招待 地域のボランティア招き交流の場を作る。 運営推進会議の継続。(2ヶ月に1回) 認知症の研修をし地域の方に理解をして頂く。 広報誌の配布・掲示(月1回)	12ヶ月
5	53	それぞれの思いや感覚、こだわりが対立してしまい、他入居者様からの言葉かけにより落ち着かれなくなる入居者様がおられる。	どの入居者様にとっても、ゆっくり安心して過ごして頂ける共有スペースになるようにする。	穏やかに過ごして頂ける環境づくりをする。 見守りをし、必要に応じ職員が間に入る。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。